

# 定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和元年11月6日（水）に開催されました。

## 1 決裁事項

- ・ 監察案件について
- ・ 審査請求書の補正について
- ・ 指定自動車教習所きさかた自動車学校の大型自動二輪教習追加指定について
- ・ 警察職員の援助要求について

## 2 審議事項

- (1) 県警察から、東京都公安委員会及び愛知県公安委員会からの警察職員の援助要求があった旨の報告があり、審議した結果、原案のとおり特別派遣することを了承した。

委員から、『パレードは、相当な人出になると思う。記憶に残る仕事になると思うので頑張っていたきたい。このとおり承認する。』との発言があった。

## 3 報告事項

- (1) 警察職員の職務執行等に対する感謝事例（令和元年7月～9月）について

県警察から、警察職員の職務執行等に対する感謝事例（令和元年7月～9月）に関する報告があった。

令和元年7月～9月までの間、警察活動に対して県民等から寄せられた感謝事例が10件あり、その内訳は、「警務警察活動」1件、「生活安全警察活動」5件、「交通警察活動」2件、「警備警察活動」2件である。

内容は、「G20大阪サミット警戒警備における警察官の対応への礼状」、「第74回国民体育大会警衛警備特別派遣中の警備活動に対する謝辞」等である旨の報告があった。

委員から、『警察職員の活動に対する感謝の気持ちが表れている。これからも励みにして頑張っていたきたい。』との発言があった。

- (2) 令和元年秋田県議会第3回定例会（12月議会）に提出予定の議案について

県警察から、令和元年秋田県議会第3回定例会（12月議会）に提出予定の議案に関する報告があった。

令和元年度12月補正予算案及び横手警察署建築工事の請負変更契約の締結議案に関する内容であった。

委員から、『限られた予算であり、適切、有効に執行してもらいたい。』との発言があった。

(3) 県警察による随時監察の実施結果（令和元年度第2四半期）について

県警察から、県警察による随時監察の実施結果（令和元年度第2四半期）に関する報告があった。

7月1日から9月30日までの間に、交番・駐在所に対して実施した随時監察の結果について、指摘事項はなかったが、指導事項が2項目である旨の内容であった。

委員から、『推奨できる取組については、他にも積極的に勧めていただきたい。指導事項については、他にもそういうことがないか注意喚起をしていただきたい。』との発言があった。

(4) 令和元年秋田県議会第3回定例会（12月議会）提出の議案等について

県警察から、令和元年秋田県議会第3回定例会（12月議会）提出の議案等に関する報告があった。

交通事故に係る和解議案に関する内容とのことであった。

委員から、『この内容で提出手続を進めていただきたい。』との発言があった。

(5) 第26回「秋田県民の警察官」表彰の受章者について

県警察から、第26回「秋田県民の警察官」表彰の受章者に関する報告があった。

「秋田県民の警察官」表彰は、秋田テレビ株式会社の主催により、日夜、公共の秩序維持と社会正義確立のため活躍している県警察職員の勇敢な行動及び功績を顕彰し、これを県民に広く紹介するものである。

令和元年10月17日、選考委員会による審査の結果、2人が選考された。11月12日、秋田市山王「ふきみ会館」において、表彰式が行われる。

委員から、『頑張った成果だと思うので、よろしく伝えていただきたい。』との発言があった。

(6) 地域警察官等による現場鑑識競技会の開催について

県警察から、地域警察官等による現場鑑識競技会の開催に関する報告があった。  
地域警察官に対し現場鑑識の重要性を浸透させるとともに捜査用似顔絵技能の向上を図るなど、鑑識従事者の底辺拡大を目的とするとのことであった。

委員から、『このような機会を通じて警察官の力量が上がるよう期待している。』との発言があった。

(7) 令和元年度秋田港・船川港港湾保安総合訓練の実施について

県警察から、令和元年度秋田港・船川港港湾保安総合訓練の実施に関する報告があった。

国際港において緊急事態が発生した場合の関係機関相互の連携と対応状況等を確認するとともに、効果的な水際対策及び危機管理に資することを目的とするとのことであった。

委員から、『ここ数年クルーズ船の就航も増えている。大変意義のある訓練なので、しっかりと対応していただきたい。』との発言があった。